

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第151号	氏名	三浦 生子
学位審査委員	主査 松山 俊文 副査 金武 洋 副査 森内 浩幸		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 出生前診断として羊水染色体検査が羊水細胞培養後にGバンド法、FISH法によって行われている。一方、最近になって羊水中に cell-free fetal DNA (cff-DNA)があることが知られるようになった。本研究ではその cff-DNA を用いたマイクロアレイ CGH 法によって染色体検査が可能かを検討しようとしたものであり目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 本研究で用いられた cff-DNA は通常の羊水染色体検査時に採取された13例(13トリソミー1例、18トリソミー2例、21トリソミー2例、Xモノソミー 1例、均衡型転座1例、正常核型XY 3例、正常核型XX 3例)からのものである。マイクロアレイ CGH 解析のために EcoRI で断片化された subject DNA と control DNA を Cy-3, Cy-5 でラベルした。マイクロアレイチップとして13, 18, 21, X, Y 染色体での座位が確認されているそれぞれ10個の BAC クローンを PCR にて増幅し、スライドガラス上にスポットされたものを用いた。これらの研究手法は目的に沿った妥当なものである。			
3. 解析・考察の評価 本研究から、cff-DNA を用いてマイクロアレイ CGH 法による羊水検査が可能であることが示された。一方で均衡型転座例では正常核型との区別がつかないという限界があることも示された。これらの研究成果は今後の発展が大いに期待できるものであり、審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			